

真円真珠 100周年記念イベント

東京で祝う真円真珠 100周年

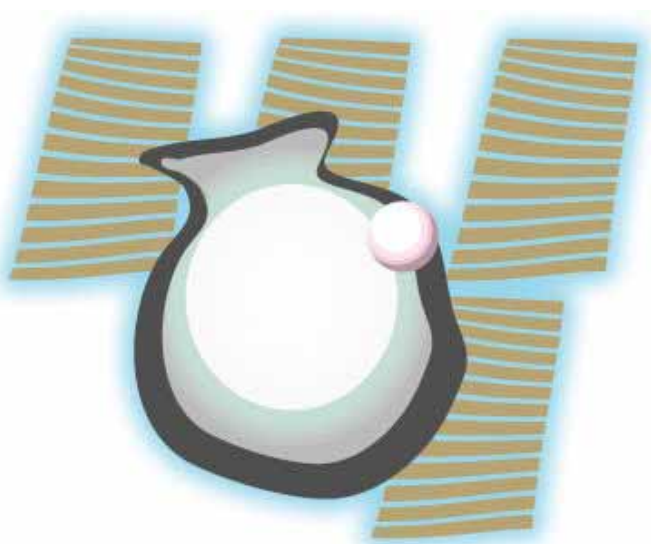
日本が世界に先駆けて発明された真珠養殖の技術。今年 2007 年、現在の養殖真珠の基礎となった真円真珠を作るための基礎技術が確立されてから 100 年目を迎えます。

志摩市でも「真珠のふるさと」として、100 周年を記念した P R イベントを実施します。

と き : 平成 19 年 10 月 28 日 (日) AM11:00 ~

と ころ : ジュエリータワーTASAKI 銀座店 エントランス

イベント : 志摩市恵利原早餅つきの披露とお餅のふるまい
真円真珠 100 周年記念品の配布



事 務 局

志摩市役所 企画政策課内

〒517-0592 三重県志摩市阿児町鵜方 3098-9

TEL : 0599-44-0205 FAX : 0599-44-5252

E-MAIL : kikakuseisaku@city.shima.lg.jp

恵利原早餅搗 (えりはらはやもちつき)

毎年、志摩市磯部町にある伊勢皇大神社の別宮「伊雑宮(いざわのみや)」で行われる、日本三大御田植祭のひとつで、国の重要無形民俗文化財にも指定されている「伊雑宮御田植祭」。この祭で配り、喜ばれたという餅。この餅を早く、たくさん搗くために考えだされたのが早餅搗といわれています。

この早餅搗は、一本の杵を2人が蝶のように舞いながら交互に取り合い、手入れを交え三者一体となって、地搗き唄に合わせて一気に搗きあげるという、他に例をみない珍しい搗き方で、志摩市磯部町の恵利原地区に天保時代から伝わっているといわれています。

結婚式などおめでたい席で盛んに行われてきたこの早餅搗、現在ではテレビなどでもご紹介をいただき、市内外はもとより、海外でもご披露をする機会も得るなど、志摩市を代表する郷土芸能となっています。



あま 銀座に海女さん！？ 早餅搗を応援

銀座に海女さんが登場！？ 当日は海女さんが漁に出るときに着用する磯着姿の女性が早餅搗を応援します。



200名様限定！！ 真珠の妖精「パルティエー」オリジナル・ピンタックをプレゼント

真珠の妖精「パルティエー」が持つ真珠部分に、本物の真珠をつかったオリジナルのピンタックを銀座に集まっていた方にプレゼント！！

【TOPICS】真円真珠100年の歴史

人々を魅了する輝きと、まん丸い球状が特徴的な真珠。しかし、1893年、鳥羽市出身の真珠王・御木本幸吉が、英虞湾に浮かぶ多徳島で養殖を成功させたのは、「半形殻付き真珠」。すなわち半球状のものでした。

多くの人が競って真円真珠養殖の成功という目標に向かって研究を進めた結果、1907年に西川藤吉と見瀬辰平の2人が、真円真珠生産の原理を最初に発見し、その後1918年、2人とは別の方式で御木本幸吉も真円真珠形成法を考案したといわれています。



見瀬 辰平

志摩市磯部町渡鹿野出身